

## 特定非営利活動法人TEAM創心 (所在地：三重県松阪市)

## 事業名

触れて、響いて、つながる学びー重症心身障害者のための遠隔触覚×感覚統合型移行期学習モデルの構築

## 事業の趣旨・目的

・学校卒業後の移行期において医療的ケア者・重症心身障害者は学びや社会参加の機会が著しく不足している。  
訪問型学習とICT交流を組み合わせ**重度障害者の生涯学習モデルを構築する。**

## 事業実施体制・連携先

大学研究者 (特別支援教育・作業療法) 医療・福祉専門職、NPO、民間ICT企業  
行政 (教育委員会・福祉部局) 家族・地域

## 主な対象

すべて/視覚/精神/知的/発達/肢体/内部障害/難病等/**重度重複/**  
/その他 ( )

## 活動分野

**学習/文化芸術/**スポーツ/情報保障/普及啓発/その他 ( )

## 事業内容

訪問型生涯学習プログラム 「**身体・感覚・社会をつなぐ6つの学び**」

- ①**ICT遠隔触覚ドラム交流** 他地域の大学生や地域住民とリズムを共有する遠隔交流により、**非言語コミュニケーションを拡張する学習機会**を創出する。
  - ②**感覚統合の時間(作業療法士)** 作業療法士による感覚統合的アプローチを通じて、**身体感覚の再編成と覚醒水準の安定化を図り、主体的活動を支える。**
  - ③**アート表現活動** 身体反応や生体情報を手がかりに表現活動を行い、**内的な感覚や感情を可視化する表現学習**を実施する。
  - ④**自然農体験** 土・植物・季節の変化に触れる体験を通じて、**五感刺激と自然環境との相互作用による学び**を促進する。
  - ⑤**社会とのつながり** 大学との合同講座やオンライン公開プログラムを実施し、**地域社会や高等教育機関との交流機会**を創出する。
  - ⑥**家族との共学** 家族が活動に参加する共学の仕組みを取り入れ、**家族を支援者から学習パートナーへと位置付ける。**
- 本事業は①②を中心に実施し、発展的展開を見据えて段階的構築を行う。

## 事業終了後の目指す方向性

・事業終了後は、本事業で構築した移行期の学びの実践モデルを基盤として、大学や関係機関によるコンソーシアム形成を進め、全国的な展開を目指す。  
また、ICTを活用した学習プログラムの社会実装を図るとともに、実践と研究で得られた知見を政策提言として発信し、**重度障害者の生涯学習を支える制度化につなげていく。**

## その他

・モデル構築の基礎資料として、関係大学数校へのヒアリングおよび文献レビューを実施する。  
さらに生体心理計測を活用した学習効果の客観的検証を行い、**本事業モデルの有効性を明らかにする。**